夕刊 京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

食糧行政愈々決戰的段階へ

鐵桶の陣容發表

道機構に四部制實施

主要食糧の國家管理を實施するために朝鮮食糧管理特別會計の設置、朝鮮食糧營團の設立によつて食糧政策の徹底を期し必要な諸施設を整へて來たが、總督府は右に對應し總督府官制、同地方官々制改正によつて新に農林局に食糧部を設け卅日附官報で發布したが、本府事務分掌規程中改正においては[illegible]

一、食糧統制の整理に關する事項、一、糧穀に關する事項[illegible]

一、主要食糧の配給に關する事項[illegible]

と明記され、更に道機構[illegible]

一、食糧の管理に關する事項、食糧及飼料の檢査に關する事項[illegible]

となつてをり、道は内務、警察、產業部と併せて四部制となり[illegible]

田中政務總監談

今回朝鮮に於ても主要食糧の國家管理制度を實施することゝなり之がため朝鮮食糧管理特別會計の設置、朝鮮食糧營團の設立等を行つて食糧統制の徹底的刷新強化を圖らんとするものであるが、更に之に即應するため本府[illegible]

食糧行政　機構の整備強化に當り[illegible]

檢査機關　及管理機構を一元化[illegible]

統理の末端滲透具現

半島人優遇の途を拓く

[illegible]の強力且圓滑なる遂行を期せんとする次第である、即ち中央に於ては本府農林局の糧政課を擴充して[illegible]

決戰段階に即應し食糧の國家管理を具現するために本府に食糧部を新設しこれに伴ふ道に食糧部を新設し[illegible]事務官十三名の增員と中央、地方[illegible]

を企圖せる異動は廿日附で發令され、朝鮮人官吏の登用[illegible]百四十六名に上る異動に及んである、小磯統理を最も如實に顯現したものとして注目されるのは新設食糧部の長に適材を配したこと、本府課長を初め地方高等官[illegible]

に半島人官吏を[illegible]の途を拓いたこと等で、更に特に[illegible]官吏の登用に就て從來[illegible]

總督府辭令

水[illegible]

任慶尚北道知事（一）（企畫室長）本府事務官　兵頭　儁

任全羅南道知事（二）（農政課長）同　美根五郎

命總督府企畫室長（東京事務所長）本府書記官　井坂　圭一郎

任本府事務官（二）命東京事務所長

命農林局畜產課長　乾　明

命殖產局物價課長（國民總力課長）本府書記官　青山　信介

命農林局農政課長（土地改良課長）同

命殖產局鑛山課長（經濟）千葉　鑛　部長　織田　智

命總務局調查課長（企畫室）同　秋山　昌平

命總務局臨察課長（慶北警察）同　阿部　達一

命總務局情報課長　香山　夏永

任本府事務官（三）原田　大六

命農林局檢查課長　吉池　四郎

命平南道食糧部長（二）增永　弘

命農林局土地改良課長　山本　彌之助

命警務局經濟警察課長　吉村　元一

須々木貞雄

李家　玄藏

湯澤　茂彌太

廣田　昌弘

池田　廣男

山下　秀義

朝川　東鉉

西原　鍾建

寺島　善四郎

水橋　比吉

富崎　眞

命忠淸北道内務部長　上野　武雄

命慶尚南道内務部長　木下　麟太郎

命黄海道内務部長　中村　義明

命平安北道内務部長　小野　文賀

命江原道内務部長　桂　珖淳

命咸鏡南道内務部長　松永　光弘

命咸鏡北道内務部長　堂本　敏雄

命京畿道警察部長　岡　久雄

命慶尚北道警察部長　豐島　陞

命江原道警察部長　柏木　宏二

命咸鏡北道警察部長　林　憲平

命京畿道產業部長　林　文茂

命忠淸南道產業部長　金光　昌永

命全羅南道產業部長　武尾　健一

命慶尚北道產業部長　鈴木　紗奈夫

命慶尚南道產業部長　山口　[illegible]

命黄海道產業部長

命平安南道產業部長　白川　元

命江原道產業部長

命咸鏡北道產業部長　鳥山　進

命京畿道食糧部長　大石　新之助

命忠淸北道食糧部長

命忠淸南道食糧部長　山脇　清

命全羅北道食糧部長　小泉　弘

命全羅南道食糧部長

命慶尚南道食糧部長　金　[illegible]

命黄海道食糧部長　金光　浩助

命平安北道食糧部長　富岡　正光

命江原道食糧部長　篠田　正大

命咸鏡南道食糧部長　松本　操一

命咸鏡北道食糧部長　中原　祥博

内田　二之助

河野　軍三

佐野　吾作

庭瀬　信行

和水　博光

[illegible]

總力戰の眞髓と朝鮮 ①

總力戰態勢

戰ひは國家と國家の興亡を賭する重大な時期にまで突き進んだ、今こそ國家は總力を擧げて、勝ち拔くために國内の一切を戰爭目的完遂に集中せねばならなくなつた、今回政府が決定した國内態勢強化の方策はそのために採り上げられたものであり、從つて方策の目標は

（一）必勝信念の昂揚（二）生產增強（三）食糧の自給自足體制の確立（四）國土防衛の體制強化

に置き國内の總力を以上の目標に集中するため、官廳機構、行政運用の決戰化、國民總動員、企業の國家性明徵化、海陸輸送の強化、金融財政を總力增強のため強化[illegible]價格及び配給の簡素化等に國土防衛に至る迄の諸事項が斷行されることになつた、即ち完全な總力戰態勢へ入るのである、併しこれへ到達するまでに矢繼早に講ぜられ、施された總ての措置は結局この總力戰態勢完備を前提としたものであり、今回の態勢に於る國内態勢強化策により國民が全部戰力化し名實共に總力戰に應じたところに重大な意義を持つのである、從來戰爭を戰ふべきは軍人のみであつた、やゝもすれば戰爭は前線のものと考へるやうな迂遠な國民さへなきにしも非ずと云つた懸念さへあつた、然るに今度は文字通り前線、銃後の區別なく、國民全部が戰闘員として決戰に臨むのである、自ら銃を執ふ者のみが戰闘者ではない、國家の至上命令に服し、工場生產に從ふ者も、田で米の增產に挺身する者も、生活必需品配給の任に當る者、學府の教場に學ぶ者、國民たる者は一人殘らず戰士である、國民がかくの如く全部戰員化した秋、初めて國家總力戰の態勢を整へたことになるのである、現代戰は味方何れも國家總力の戰ひを續けてゐるのに必死の努力を續けてゐる

獨乙はスターリングラード悲劇の前後にこれを斷行した、ソ聯は逸早く實行した、英國も亦ダンケルクの敗北以來着々この方向に歩いてゐた、米國は國内の[illegible]總力戰といふ言葉は強い魅力を持ち、これを研究する者多く、夥びその本質について多樣な定義が與へられてゐる、總力戰とは武力戰をはじめ經濟戰、政治戰、外交戰、思想戰、人口戰、精神戰等凡ゆる障壁を排除しつゝ[illegible]

國民全員が戰闘員

一貫連續の不動の精神

國體と總力戰

[illegible]國化が成し遂げられるのである、特に世界において我の力服を[illegible]

例へば經濟學者が經濟戰の立場から總力戰を定義する場合、總力戰に於る經濟戰の比重を殊更に重く見るといふ意味ではない[illegible]

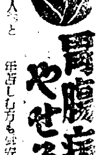
[illegible]

「國家の總力を天皇に歸一し奉る」

國民の上下心を一にして外敵に當つた愛國心は到底外國に例を見ざる戰ふ國の姿であり、國民の精神である、これを總力戰と云はずして、何を總力戰と云へやうか、そこで總力戰とは[illegible]

明治天皇が日露戰爭當時の御製に[illegible]

一兵士に至るまで、あのアツツの玉碎精神が湧いて來るのである、大君は畏くも明治天皇が御製に御示しになつた如く國民の總力はすべて天皇の御力であると仰せられるし、國民また何千度死んでも大君の御爲に盡すといふ千古不拔の闘魂に生き、君民一體の實あるところに、總力戰の眞意義を解することが出來る（續く）



改めコード　キング　富士音盤
十月新譜
出船　永田絃次郎
支那の空　岡晴夫
支那の水
夜の町
あの旗を射たせて下さい　丸山定夫
勝利への曲
皇軍艦
海の系圖
みたみわれ
十億の進軍
獨逸歌謠愛唱曲集

十月の誓

は、敵はたやすくとなるのだ、實に前線も銃後も全國民一丸となつての體當りが要請される秋だ。戰局の深刻苛烈な轉機に直面する國民の心構へはこれでよろしいか、今が一番大切な秋だ、こゝでぐつと踏ん張れ

敵の"銃後"へ體當り
軍援と街の美化總力實踐

國民總力朝鮮聯盟では十月實踐事項の實踐を次のやうに要望した

一、眞心こめて軍人援護に努めませう 戰局は益々苛烈深刻になつて來ました。我等は更に前線將兵の勞苦に思ひを致し皇國の英靈に感謝の誠をこめて一層軍人援護に力を致すと共に相助け相励まし合つて各々の職務に精勵して一段と戰力の增强を圖り前線將兵に後顧の憂なからしむるやう次の事項を必ず實踐致しませう

（イ）軍人援護の精神を生產增强、貯蓄の增加にしつかり打込むこと（ロ）傷痍軍人や歸還軍人、軍屬、應徵士等には優先的に職場を與へるやう協力すること（ハ）お互に進んで戰傷病者や軍人遺家族の相談相手となり生活の安定を期するやうに助け合ふこと（ニ）軍人、軍屬、應徵士等の遺家族を支援激勵し相携へて戰力の增强に邁進し奉公の誠を盡し合ふこと（ホ）前線へ眞心こめた慰問袋や郷土の便りを少しく送り慰問激勵に努めること（ヘ）戰歿者竝に地帯の遺骨その他護國の英靈に對し感謝の誠を捧げると共に我等も亦鬼畜米英の銃後に膺懲き必ず復仇することを誓ふこと

二、お互に街頭道德の實踐徹底に努めませう 街頭はその國の鏡であり國民の心の表はれであります、お互に街頭は清く明るくそして和氣あいくとした一家の如き氣持をもつてこれを美化し淨化して大東亞指導國民としての品性を保つやうに心掛け左の事項を必ず實踐致しませう

（イ）お互に親切と讓り合ひに努めること（ロ）老人や幼兒老弱者を勞はること（ハ）道路の清潔に努めること（ニ）道路に物を捨てないこと（ホ）道路に邪魔になる物を置かないこと（ヘ）落書の一掃に努めること（ト）所かまはず唾痰を吐いたり手鼻をかんだりしないこと（チ）道路に大小便をしないこと（リ）道路や停車場などで飲食しないこと（ヌ）街路で歩き乍ら煙草を喫はないこと（ル）泥醉して道を歩かないこと（ヲ）交通信號を守ること（ワ）右側通行、一列勵行を亂さないこと（カ）拾ひものは必ず届け出ること

全東亞の總力結集
內・鮮・滿・華 連絡懇談會終る

內鮮滿華連絡強化懇談會の第二日—卅日は緊張と眞劍に燃える氣魄を罩つて午前八時半から總督府第一會議室に再開、前日に引續いて

一、內鮮滿華國民運動の連絡強化に關する事項

一、朝鮮同胞に對する皇國民としての資質の錬成向上に關する事項

の兩項目をめぐつて熱烈なる舌鋒により會議は愈々高潮して行き、懇談を終り、一同別項の如き申合せを行つて起ちあがる半島のために、內滿華が協力を惜しまざる誓ひをかため、田中副總裁の閉會の挨拶、參列者を代表して大政翼贊會高木總務氏の挨拶、ついで小磯總督起つて「この二日間に亘る諸氏の御熱心なるまた腹臟なき御懇談をいたゞき感謝に堪へない、半島の有する物的、人的のすべてをあげて皇國のため、否大東亞建設のために挺身期待に副ふつもりである」と懇篤なる挨拶をもつてこゝに歴史的な懇談會を閉ぢたが第二日の發言は次の通りである

村井博介氏（大日本翼贊壯年團參事）半島の皇民化問題は日本朝野の大命題である、內地七千五百萬の思想工作としてこれから半島の皇民化問題を內地の國內に徹底して行く、この內鮮一體は日本の悠久なる肇國の理想に始まるもので、理想も何もない、徹民部もからした理想から打ちたてられたのだ

町田辰次郎氏（大日本產業報國會實践局長）昨夕の招宴に小磯總督の熱なる御意欲御抱負に感銘しては私たち一同全く敬服、敬意を表する、こんなに懷の高い理想をいたゞく半島は實に幸福であり、また總督に對して半島は全般の信頼を寄せて官民一體、決戰へ邁進して大東亞戰を勝ち拔くために挺身して行かれることを切望する

簡牛總務部長 青年錬成に就ては特にいろいろといはれましたが全く同感です、徴兵制にりつばな若人を送らねばならないので、これからは職能の事業としてこの方面に眞摯を匿く、青年錬成の中核體として壯年隊のやうな組織を作れといふ御意見ももつともです、半島には愛國班組織と共に工場、鑛山などには壯年隊がある、今後は婦人錬成にも力を入れてこの方の修養も積極的にやる

內鮮滿華連絡強化懇談會申合せ

一、我等國民運動團體は決戰下朝鮮に徴兵制の實施せられたるを契機とし、茲に連絡強化懇談會を開催し、當面の諸問題に付協議の結果、今後愈々各國民運動團體相互の連絡提携を密にし、以て大東亞戰爭必勝完遂に邁進せんことを期す

一、我等國民運動團體は決戰下朝鮮の擔へる重要使命と、本會合の趣旨に鑑み各當該地域に於ける國民運動の展開を通じ、本會合の成果の徹底具現に努め、以て大東亞共榮圈建設を完うせんことを期す

津田宣傳部長 朝鮮の問題は日本の問題であり、大東亞の問題だ、大いに半島を認識していただきたい、內地の思想が軟弱になれば半島の思想文化も軟弱化する

久杉榮一郎氏（大日本青少年團）半島の女子の問題であるが就學率が非常に惡い、もつと力を加へられて、大いに女子を錬成すべきである

笹本一雄氏（商業報國會中央本部）半島へ來て私は非常な感銘をうけてゐる、志願兵訓練所には多く半島婦人が見學に來てゐる、中には國語の話せない六十の半島婦人が中腹から五十圓を出して愛國の湯で獻金を申出たといふ美談もきいた、全く感激にたへない、最近、半島婦人の職域に於ても時局に處へない

南與之氏（國民總力朝鮮聯盟本部）半島の國民學校女子の就學は內地のそれよりなほ低い、婦女子の教育は使命が大きい、將來のよき主婦をつくるためにも大事だ、女子にも軍隊式の訓練がのぞましい

高橋勝治氏（滿洲帝國協和會）大東亞戰爭の前に半島の皇民化如何は非常に注目される、今後の半島は滿洲協和會と連絡を緊密にし、在滿半島人の指導に力を注ぐため在滿半島人の指導にも一層お力をかしていたゞきたい

奮つて買はう"恩給"
一日から窓口開く『郵便年金』

十月一日から實施の朝鮮簡易郵便年金は必勝態勢を目指して突き進む朝鮮の全家庭を對象としてその生活を安定强化すると共に勝ち拔くための國民貯蓄を一段と增强しようといふ二大眼目を一丸として創始したもので、この事業の普及發達を掲げて朝鮮簡易保險の根强い推進力となるが制度の內容や效果は簡易保險と自ら趣きを異にしてゐる、白石遞信局長は事業の創始に當り廿九日次のやうな談話を發表し各方面の協力を要望した

米英擊滅の闘志に日夜燃えさかる朝鮮に今度新らしく郵便年金制度が始められたことはまことに意義深いもので、今日までに多大の協力をいたゞいた關係方面に對しては深く感謝するところで直接本事業に携はるものとしては眞心をこめて共にその重要を痛感し今後の普及發展の爲には新なる決意と努力をもつて挺身奉公致したい

今日如何なる制度事業たるを問はず新に創設するものは戰力增强米英擊滅を目指すものばかりであるが、この年金制度も畢竟かうした國家最高目的の重大使命を帶びて登場したもので郵便年金契約の普及はそれだけ戰力の根源たる國民の力、家庭の力を强化し一方國民購買力の吸收、戰時貯蓄の增强に直接間接貢獻する

郵便年金とは元來これは生命保險のうちの生存保險の一種であつてその受取人が生存してゐへば國民の誰もが買へる恩給といつた性質のもので、卽ち年金加入者が政府に掛金を拂込むとその代りとして年金受取人はその人の生存を條件として終身間又は一定期間恰も官吏や軍人の恩給と同じやうに毎年一定の保障金額を年金を支拂ふ制度である、三種類の年金について

簡單に說明すると

◇第一に卽時終身年金、これは四十歳以上六十五歳以下の人のもので四十歳以上六十五歳以下の人だけが年金受取人として加入出來、加入と同時に相當多額の掛金を一時に拂込むことになつてゐる、その代り政府では加入のときから毎年その受取人に對し、たとへその人がどんなに長生しても一生涯年金を支拂つて老後の生活を保證してゆく、このうち年金は加入してから二十年間は保證期間がつけてあつてこの期間中に萬一受取人が死亡した場合はその保證期間中は年金を受取人の遺族に對し支拂ふことになつてゐる

◇第二に据置終身年金であるがこの年金では加入後直ちに年金は支拂はれない、十五歳以上五十歳又は五十五歳といふ約束した年齡から一生涯年金を支拂ふものである、つまり若いときから加入して年金は据置き來年に入つて受取るといふ譯で掛金の拂込方法は卽時年金のやうに一時に全部拂込む一時拂の外に加入後年金支拂開始期まで所謂据置期間中ずつと毎年或は半年毎に掛けてゆく年拂、半年拂といふ分割拂の外に今一つ加入後都合のよい時いつでも拂込む隨時拂との三種がある

◇第三に定期年金とか教育年金とかいつてゐるもので、年金受取人として加入出來るのは十五歳以下の子供に限つてゐる、また年金は十二歳とか十七歳といふ豫め契約した年齡になつた時から五年間だけ支拂ふ、卽ち子女の學資とか婚資とかいろいろ物いりの嵩さる時期に年金が受取れて役立つといふわけだ、これも契約者の親御さんのことを考へて掛金の拂込方法には一時拂、年拂、半年拂の外に簡易保險と同じやうに月掛集金の制度も設けた、徴兵制が實施され義務教育も近く實施される朝鮮に於いて特にこの年金が普及するとは大慶

洵に望ましいことである

以上郵便年金の概略を說明したが年金の最高額はどの種類も年額三千六百圓で年四回に分けて支拂ふことになつてゐる、加入者からの拂込掛金は簡易保險同樣政府において年金支拂のために積立てて運用利殖してゆくが、これが戰時資金として役立つと共に事業上の剩餘金は擧げて加入者の利益に關する方針で時局即應として經營する純非營利の厚生施設であることはいふまでもないが、よく共榮の精神を理解して共存共榮の事業使命の效果を擴大させるやう希望する

大陸の開教へ
大谷光暢氏夫妻北行

【釜山電話】本派本願寺大谷光暢管長、同智子裏方は朝鮮、滿洲、北支の開教と慰問のため廣島を出發卅日夕釜山着、直ちに『興亞』で北行したが驛頭ホテルに少憩中次の如く語る

私が今更申し上げるまでもなく皇紀二千六百年の歴史を通じて時局の重大なること、今日より大なるはありません、而も戰爭の一環として歐洲戰局を考へる時、イタリヤ傀儡政權の降伏はそれが假令盟邦ドイツの負擔を輕からしめるものであるとは言へ、決して看過すべきことではなく、更に東部戰線の推移から米英ソの動きを考へ併せますれば戰局の前途豫斷を許さぬものがあります、又大東亞戰爭の現段階に於ては西南太平洋方面に於ける米國の執拗なる反攻を目前に見て私共は一段と覺悟を新たにせねばならぬことを痛感しなければならぬのであります、この秋上下一致してこの難局を必ず突破してゐます、現地の各機關の方には出來るだけ多くお會ひして懇談したいと念じてゐますから本紙を通じて宜しくお願ひします 尚一行は元山、淸津を經て入滿の豫定

伊國王ら臨時政權を樹立か

【ストックホルム廿九日同盟】スベンスカ・ダグブラデット紙ベルリン特派員の報道によればイタリヤ國王、バドリオ、イタリヤ軍司令官アムブロジオなどは南部イタリヤアドリヤ海岸のバリに臨時政權を樹立したといはれる

勇躍"新しき部署"へ
決意を語る榮轉の人々

白晝賊、地方廳一新しての大異動は決戰道の人々を刷新それぞれの新部署に赴かせてあるが、その中で兵頭全南知事、それに岡京畿道警察部長に加へて"新鋭三人男"各署長の移轉は一際目立つ、わけても決戰決意を以つて京畿道警察部長としてその重要につく岡警察部長の下に實務格署長三人男の本町、鍾路、龍山の各署は、その新鮮なる人事に澎湃熱動の氣魄が掛揚されてこの街々な全府の人心をして躍り立たせてある、この日この秋、道警陣の新しい陣容を見、壯快を感じ、大きい期待がかけられてゐるのだ、その壯快なる期待の中に輝くそれらの人々の決意を聽いてみよう

"昂めん道民の士氣
流石に嬉しい兵頭全南知事

良二千石の金的を射止め全南道知事に榮轉する總督府企畫部長兵頭氏は半島官界の大物として早くから期待されてゐた人であり、今度の異動では當然知事に榮轉する人物として評されてゐたのである、昨年十一月大邱稅務監督局長から本府企畫部長に返り咲き、戰ふ半島の諸施策の源泉をなしてゐた兵頭氏は今卅日企畫部長室で例によりどつしりと落ちつき態度で「なにもないよ」と苦笑嘲顏にいつたが流石に微笑を浮かべながら次の如く語つた【寫眞は兵頭全南知事】

全南は初めてだ、全南といへば昔から穀倉の地とかいつた風で何といつても戰爭に勝つこと以外にない、勝つには全南は如何なることが最も重要か、といへば先づ道民の士氣を昂揚し日本精神に徹せしめることにある、全南道の重要は農業が主であり又水產もあり稔餘の問題等もあるが要は摩擦を起さず圓滑にやつて行くことを運用の主眼とするのである

大いに頑張る
伊坂鍾路署長談

京畿道保安課長から一躍鍾路署長として同地區治安の元締に拔擢された伊坂和夫氏の新任の感を聽けば明眸の瞳から迸しる喜悅を湛へ次の如く語る

道では皆さんにお世話になりましたよ、昨年の春に來て僅九ケ月の短い期間ではありましたが本當に氣持よく愉快に働かせて頂いた事を深謝する、今度の第一線は全く始めてで果してうまく勤まるかどうか心配で一杯だ、殊に半島人に初めて責任のより重大なる部署だけに責任も重大なるを痛感する、鍾路は半島の中樞であり從つて半島人心の動向が多い、從つて半島民心の動向を決定すべき樞要の場所だ、此處に强氣の決戰態勢が出來なければ駄目だと思ふ

警察の使命が治安第一にあるは勿論だが、それは只社會安寧が保たれて事無きを以て滿足すべきではない、決戰體制下の緊急問題たる防空態勢、勤勞動員または產業擴充といつた勝ち拔く爲の諸施策の推進力となり中核となつて進まねばならぬ、進んで民衆の先頭に立つて啓蒙指導せねばならぬ、その爲めには警察は先づ自己を修養し錬成して偉大なる感化力と權威ある指導力を持たねばならぬと思ふ、淺學菲才のものではあるが上司先輩の指導を受けて大いにやるつもりだ、一般の支援を願ふ

斷乎やる綱紀肅正
防訓も徹底 語る岡警察部長

元京畿道警察部長の榮職に轉出した岡久雄氏は卅日總督府警務課長室で次の如く語る【寫眞は岡部長】

先づ綱紀肅正を斷行するつもりだ、それには警察官は襟を正す必要がある、時局下民衆の信頼を受けるやうな警察官と接するやうにしなければならない、決戰體制下に即應して防空訓練は絶對必要であり綱紀肅正と一體のものとしては防空對策の確立を徹底的にやりたい、一般に對する訓練も徹底的に實施したい、人の訓練と施設の訓練を通じ、又國民の決戰態勢の强化に努めたい、それには一般の協力を要する

職務に全力
脇田龍山署長談

本府保安課事務官から龍山署長に榮轉した脇田穗氏は次の如く抱負を語つた

微力と雖も男一匹、此の緊迫した狀態下に負荷された任務の光榮を感じ身命を賭してやりたい、決戰下の施策に對して傍觀的態度又は暗躍するやうな者には假借なく、如何なる風に對しても徹底的に綱紀を加へるべきだと信ずる次第である、上司の指導下全生命を打込んで御奉公の誠を盡す覺悟である

治安に飽くまで挺身
大京城の要、星出本町署長談

國民動員陣を圓滑に遂行することにある警察官が之を指導する立場にある警察官が從來の物價に關する事務にかゝるといふことでなく…

警察事務には永年勝つてきたが第一線は初めてのことで本町署の如き重大なる署に重任を帶びて是非するとしく思ひ、殊に京城本町署長に榮轉した星出壽雄氏は後令直後の卅日次のやうな抱負を述べた

任の重大なるを痛感してゐる、これまで本町署には老功練達の先輩諸官が坐つて、その實質を果してきた處であるのに、自分の如き若輩が就くのは責任の重大なるを痛感する、殊に大京城の要、本町署に職を奉じたからには決死の覺悟で治安の維持を全うしたいと所存であるそれにつけても一般の人々が警察に對して何やかと批判することは決してよくないことだと思ふ、國民が一體となつて戰ひ拔くべき時だ、責任ある者として良いと思ふことはどしどしやつてゆきたいと思つてゐる

全く白紙だよ
佐野木浦府尹

木浦府尹に榮轉する佐野晋作氏は榮轉の辭を次の如く語る

鍾路署、府中は稍々と各方面に厄介になつた、上司先輩の御指導のお蔭で大過なく職務を果した點感謝に堪へぬ、今度はサーベルをはずして細工ひの道に踏み込むのだから全く白紙だ、時局多難なる折、山積した地方行政の運營を全うするには上司をはじめ官民の積極的協力を俟つところ頗に大なるものがある、粉骨碎身その職に殉ずる覺悟である、よろしく頼む

豫科飛行練習生
半島部隊東上

【下關電話】米英擊滅の壯烈な決意を胸に秘め蒼穹の大空に行く雛鷲の一行は總督府警務局橋本屬に引率され廿九日朝下關着、午後三時發列車で東上○○基地に向つた

けふの市況（卅日）

證券—堅調 內氣配

長期決戰態勢に生產擴充のため各市場とも休會であるが內氣配は頗る堅調を示し、新東株を待たずの形であつた、稍目立つて高いのは帝國化工、大阪金屬、大阪製鐵、大阪機工、久保田鐵工、日本發工、光洋精工、小松製作所等その他中堅株が軒並一圓または三圓高を演じて買氣は保ち模樣である、買氣は巨大な事業會社よりも中堅會社にあり、目先特殊な惡材料のない限り、適正採算買が行はれよう

…壓であり、積極果敢な買氣が展開されるものとみられる、主なる出來値左の如し

朝鐵四新一四圓九▲朝鮮機械六四圓八▲高周波五二圓三▲朝鮮理研三九圓五一四〇圓▲合成化學新三一圓八一二圓二▲京城九〇圓一一二▲日本マグネ六五圓四一三▲龍工新五一圓一五

小林鑛業總會 小林鑛業では廿八日定時株主總會を開き、當期利益金處分案（年八分据置）朝鮮活性白土工業株式會社設立案監査役故堀田純一氏に弔慰金贈呈の件を附議、原案通り可決した、利益金處分案左の如し（單位千圓）

◇當期純益金三、二二七▲前期繰越金六七三▲合計三、八九〇◇處分▲法定積立金二〇〇▲別途積立金六〇〇▲社員退職慰勞金一〇〇▲役員賞與金七〇▲社員賞與金八〇▲納稅引當金一、〇〇〇▲株主配當金一、〇〇〇▲後期繰越金八四〇

實物—硬化

前日來上向き歩調に轉じた氣先、引續いて採算圈內にある重點株は買氣があり、總じて硬化模樣を呈した、投資筋は月替りを俟つて買拾はんとする傾向が漸次濃厚…

株價政策の轉向
增資新株の割當緩和

去る廿二日以來歷史的な決戰經濟體制の一大革新政策の要項が次ぎ次ぎと發表された、豫想されたことではあるといへ、七月末以來國際情勢を反映せる心理的な影響に加へて現實の增資プレミアム抑制に買氣を喪失した市況は戰時金融の…が故に買進むといふ傾向ではない

大日本工機 勿論二流株である、しかし小型である、增資プレミアム抑壓が緩和されるとすれば將來の發展性を見込んで八分配當五分五厘利廻り、權利落舊株七十二圓五十錢とみる、新株八掛とすれば新株全部がノープレミアムで權利付九十圓五十錢、時價八十七圓五十錢は新株〇・四五プレミアム九分に買へば七十五圓、八十一、二圓、六十五圓、將來の發展性が全然買はれないのならとも角八十圓見當の時價は最早採算圈內にある

光洋精工 會社側の意向によると年中には再增資、再增資までは九分配當維持とある、九分を五分五厘利廻りに買へば…

日本飛行機 航空機工業中許可會社で最も割安なのはこれである、增資直後はいへ七十二圓、五分利廻、しかも去る三千萬圓の小型である、勝正は淺いが××機用工場として技術も優秀であり、發展性も大きい、七十圓臺を割るべきものではない

小林鑛業 最近の業績が上向き傾向を辿つてゐるのは全く鑛山の關係と製鍊關係の生產增大に基くものである、製鍊はジロー式で…

現株仲値（卅日十一時調）

銘柄	仲値
◇鮮內株 ◇銀行株	
鮮銀	[illegible]
殖銀	[illegible]
同新	[illegible]
商銀	[illegible]
同新	[illegible]
二新	[illegible]
三新	[illegible]
貯銀	[illegible]
東一銀	[illegible]
漢銀	[illegible]
信託	[illegible]
朝無盡	[illegible]
◇紡織株	
朝紡	[illegible]
同新	[illegible]
京城紡	[illegible]
朝織物	[illegible]
◇運輸株	
朝鐵	[illegible]
一新	[illegible]
二新	[illegible]
京春	[illegible]
京東	[illegible]
京南	[illegible]
朝運	[illegible]
同新	[illegible]
◇電氣株	
南鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
北鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
漢水電	[illegible]
京電	[illegible]
同新	[illegible]
西鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
◇鑛業株	
小林鑛	[illegible]
無煙炭	[illegible]
同新	[illegible]
三防	[illegible]
日マグ	[illegible]
製鐵	[illegible]
遊仙炭	[illegible]
鳳泉炭	[illegible]
三國	[illegible]
同新	[illegible]
朝陽	[illegible]
◇化學工業	
高周波	[illegible]
朝工新	[illegible]
弘中	[illegible]
同新	[illegible]
朝燐	[illegible]
國產東	[illegible]
朝石油	[illegible]
同新	[illegible]
北鮮紙	[illegible]
東亞金	[illegible]
朝理研	[illegible]
◇諸株	
朝拓	[illegible]
同新	[illegible]
東拓	[illegible]
同新	[illegible]
米市場	[illegible]
◇大陸株	
滿工礦	[illegible]
同新	[illegible]
日滿ア	[illegible]
同新	[illegible]
鞍山鋼	[illegible]
滿鐵	[illegible]
同新	[illegible]
滿電	[illegible]
華北電	[illegible]
滿洲電	[illegible]
中華電	[illegible]
東亞電	[illegible]
同新	[illegible]
北支開	[illegible]
中支振	[illegible]
大同石	[illegible]
熱河開	[illegible]
滿パル	[illegible]
錦パル	[illegible]
◇內地株 ◇紡績株	
日東紡	[illegible]
同新	[illegible]
日清紡	[illegible]
日紡	[illegible]
◇人絹株	
倉絹	[illegible]
同新	[illegible]
帝人	[illegible]
同新	[illegible]
日產新	[illegible]
◇鑛業株	
北炭	[illegible]
昭和鋼	[illegible]
同新	[illegible]
石原產	[illegible]
同新	[illegible]
新鉛銅	[illegible]
北樺油	[illegible]
昭和石新	[illegible]
帝石新	[illegible]
◇化學工業	
日窒	[illegible]
同新	[illegible]
電化	[illegible]
同新	[illegible]
日曹	[illegible]
同新	[illegible]
◇重工業	
大同鋼	[illegible]
小倉鋼	[illegible]
同新	[illegible]
ニツケ	[illegible]
日本鋼新	[illegible]
昭和電	[illegible]
日立新	[illegible]
日鐵金	[illegible]
石井鐵	[illegible]
同新	[illegible]
新潟鐵	[illegible]
池貝鐵	[illegible]
製鋼	[illegible]
豐田工	[illegible]
昭和飛	[illegible]
日航機	[illegible]
同新	[illegible]
ディゼ	[illegible]
同新	[illegible]
東洋ベ	[illegible]
日ビス	[illegible]
◇船舶株	
國際船	[illegible]
東洋船	[illegible]
川崎船	[illegible]
同新	[illegible]
川南	[illegible]
石川島	[illegible]
同新	[illegible]
二新	[illegible]
三新	[illegible]
◇製糖株	
台製糖	[illegible]
同新	[illegible]
鹽水港	[illegible]
發送電	[illegible]
◇電氣瓦斯	
同新	[illegible]
關東電	[illegible]
關西電	[illegible]
◇製紙株	
王子紙	[illegible]
日清粉	[illegible]
同新	[illegible]
日本粉	[illegible]
◇諸株	
三菱商	[illegible]
同新	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]

大和水軍（14）
村松梢風作 中一彌畫

說客（五）

安國寺惠瓊と、秀吉との關係に就いては面白い傳說がある。今暫く歷史の詮索は止めて、其の話から說いて見ることも、此の人物を說明する一つの方法であらう。

惠瓊は藝州沼田郡金山城主、武田刑部少輔信重の末子で、幼名を竹若丸と言つたが、十一歳の時、京都の東福寺へ入つて髮を剃り、僧となつた。

彼は才學共に秀でてゐたから、寺では將來名僧にも上るべき器と嘱望されてゐた處が、年頃になると素行が修まらず、到頭寺を追ひ出されてしまつた。けれども今更故郷へ歸るわけにもゆかず、幸ひ彼は人相を觀る術に長じてゐたので、日毎に三條大橋の欄干へ出て襤褸で顏を隱し、通行人の求めを受けては人相や手の筋を觀て、吉凶を判斷し、僅かの錢を得て糊口を凌いでゐたさうすると何時となく、

『あの坊さんの人相見はよく中る』

といふ評判が立ち、わざく觀て貰ひに來る客なども出來て、從つて收入も多くなつたが、それを悉く酒色のために費して相變らず自墮落な生活を續けてゐた。

すると或日のこと一人の男が通り掛り、

『一つ私の手相と人相を觀て下さい』といつた。そこで惠瓊が天眼鏡を取つて、先づその男の手の筋から觀ると、掌に、中指の中心から手首に至るまで糸を引いたやうな一條の筋があつた。これは誰れでも知つてゐるところの天下取の相だ。

次に面貌を觀ると色黑く、頭は小さく、左の頬に黑子が四つある。頗る異相である。併さに人相を觀た後、其の衣や身につけてゐる物を見ると、いかにも還國の者らしく、刀を二本差してゐるけれども、先づ足輕位の身分と覺しく草鞋は擦り切れて殆ど裸足も同然、的の笠も、破れて陽を防ぐ用をなさないくらゐ。

惠瓊は心中驚きながら云つた。

『あなたの手の筋と、相形によつて考へると、あなたは天下の權を握る運が具はつてゐる。いづれ遠なく開運立身なされるでせう。さて〳〵不思議な御人體があるものぢや』

其の男は喜んで

『若し法印殿の云はるゝ通り私が立身するならば、いか程の謝禮でも差し上げませうが、今は御覧の通り貧賤の境涯で何へも差し上げ兼ねる。他日御報酬の時節もござらう』

と云つて若干の見料を置いて立ち去りかけた。

惠瓊は何と思つたか、傍らに置いてある觀相の書物を手に取つて鴨川の流れへ投げ込まうとした。

かの男はそれを見て立ち戻り、

『法印殿は、何故書物を捨てようとなされるのぢや』

『されば、拙僧は今日まで此處へ出て、日毎に多くの人の相を觀たが、いまだ一人も見損じたことはござらぬ。されば人もわしの言葉を信用し、我れも心に誇つてゐたが、今日わしはあなたの相を觀て不覺を取つたのぢや。あなたは相形に依れば、人臣の至極に昇る人である。相學の中に示してあることをわしは信ずることが出來なくなつた。今迄中つたと思つたのははまぐれ中りで、實に相形の擇り所があるのでないことを知りました。明日からは人の相を觀ることを止めようと思ふ。それ故觀相の書物を川へ棄てるのぢや』

京日歌壇
梅田敏郎選

息つめて米英擊滅捉を見てゐるに山本元帥は幻に立たす 城北 清水鍾昊

勝さやぎ城池おもはす夕立の後ゆあがりし月光に棕梠の葉 京城 山本深舟

今生の別れと頭く云ひ給ふやうなづきを思ふ兵の聲われは 永登浦 高松節子

世に出でゝ起たむ時近づきぬ學舍にコスモス咲くを愛しみつゝ 京城 岡本盛正

雨あがりの朝の庭土掘り起し宵苹時きたり栗しきものを 京城 三輪芳子

伊太利のなりゆくさまを思ふ間もた々暗きつげり卓袋の虫 京城 田島健

文化だより

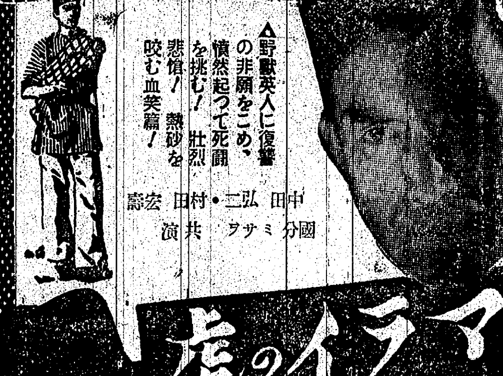
『愛機南へ飛ぶ』 松竹作品『愛機南へ飛ぶ』は情報局選定となり、同映画の推薦理由は決戰下航空思想の普及緊急なるに鑑み國策的なる撮影技術を驅使し、銃後と前線を結ぶ航空を中心に劇的構成も極めて明快な手法によつたものである

愛國の歌書道展 文人書家の歌意よく國の歌の研究に精進の山崎みつ子女史の愛國百人一首の書道展が明一日から六日まで京城三越四階で開かれる

南山句會 十月三日午後六時半林町一五七野田博山氏邸にて開く 兼題紅葉・雁（各選三句）

證券報國
心頭を滅却すれば火も又涼し
一億敢闘必勝に總力結集高潮時
京城府中區明治町二丁目三一番地
秋田證券
電話代表本局②六五五番

虎彥龍彥
東寶映畫秋季特作 演出・佐藤武
轟夕起子 星野和正 小泉忠 杉裕之 沼崎勳 里見藍子 德川夢聲
敵國にとつて敵へ！子は自分の血を分けた子供も同然だ！彼女は一生涯の苦しみと喜びの中に身をもつて道入りとんだ！歡びの涯のなかに浮しき生甲斐を知つた若き女教師の清らかな愛の世界の記錄
九月三十日ヨリ 十月六日マデ
中央劇場 京城寶塚劇場 京城劇場


國分三ミサヲ 中田弘二 村田宏壽 共演
▲野獸英人に復讐の非願をこめ、憤然起つて死鬪を挑む！壯烈悲愴！熱砂を咬む血笑篇！
マライの虎
一日 大公開 大陸劇場

株式會社 東亞證券
短期現物 朝鮮取引所一般取引員 京城黄金町二・電話代表本局五一六一

女の毎月
李鍾鎬外科
內科外科一般 肛門科 京城府
醫學博士 李鍾鎬

清算實物 朝鮮取引所一般取引員
株式會社 古野取引店

決戰漫畫映大會 マンガ
大陸新戰場
ナカヨシ行進曲 お山の防空陣 鬪ふ潜水艦 ワクチャンの增産部隊 マー坊の落下傘部隊 マンガ六部一擧上映
10月1日ヨリ 城南劇場 喜樂館

告 京城女子商業學校卒業生
西原產婦人科
新龍山三角地 入院隨意 電話（龍山）一〇三五番